



令和7年6月27日

札幌開発建設部

どうおうけんれんらく なかじゅりん
道央圏連絡道路（中樹林道路※）

開通後約2ヶ月の交通状況をお知らせします

令和7年3月15日に開通した道央圏連絡道路 中樹林道路の開通後の交通状況等について、お知らせします。

＜開通区間の交通量の状況＞

○中樹林道路開通後の4～5月の平均交通量は、**約3,500台/日**でした。

○GW期間における12時間交通量の調査結果では、昨年度は約6,100台が国道337号を利用していました。今年度は、約4,200台が中樹林道路を、約3,700台が国道337号を利用していました。

○中樹林道路の開通に伴い、道央圏連絡道路の開通済区間の24時間交通量は、前年度同時期と比べて**約3～5%増加**していました。

＜地域の声＞

○開通区間の利用者からは、中樹林道路の開通により企業立地の促進や生活環境の改善、苫小牧港へのアクセス向上、観光バスの走行性向上の声が寄せられています。

・交通量等の詳細については、**別紙1**をご参照ください。

※中樹林道路は、令和7年3月15日に開通した国道337号の南幌ランプ～江別太交差点間の道路です。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

道路計画課長

たいら
平

きよし
記好（電話番号 011-611-0239 ダイヤルイン）

広報官

ひろかわ
廣川

けん
健（電話番号 011-611-0279 ダイヤルイン）

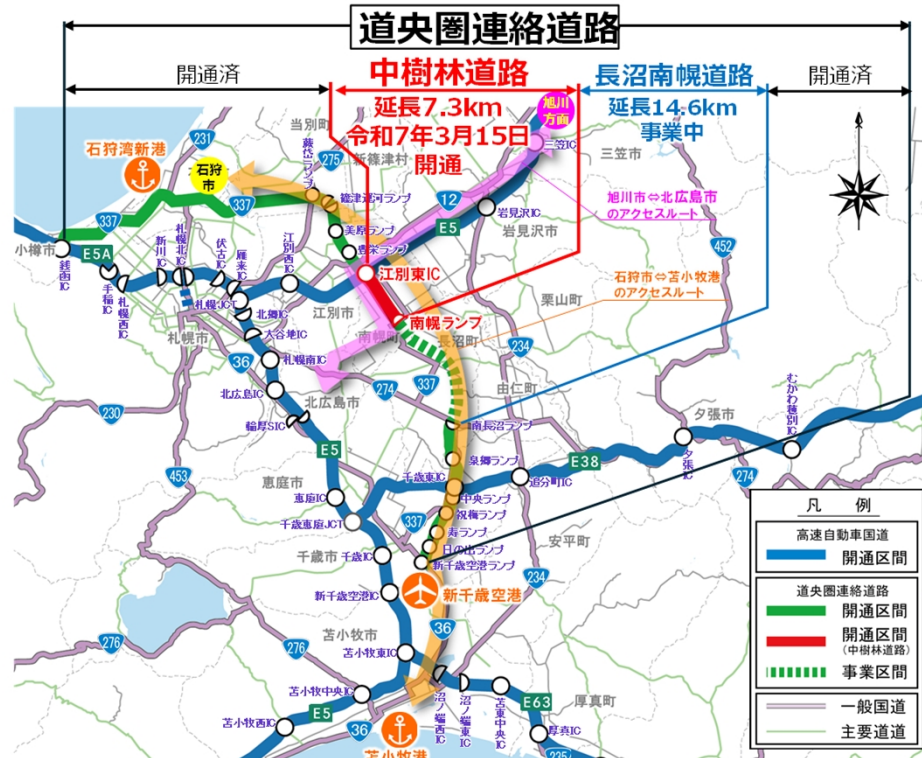


札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>

道央圏連絡道路（中樹林道路） 開通後の交通状況について

別紙 1

- 中樹林道路開通後の4～5月の平均交通量は、約**3,500**台/日でした。
- 道央圏連絡道路の開通が進んだことにより、開通済み区間の交通量は、増加傾向です。
- 中樹林道路の開通により、企業立地や生活環境の改善が進行しています。



▼事業位置

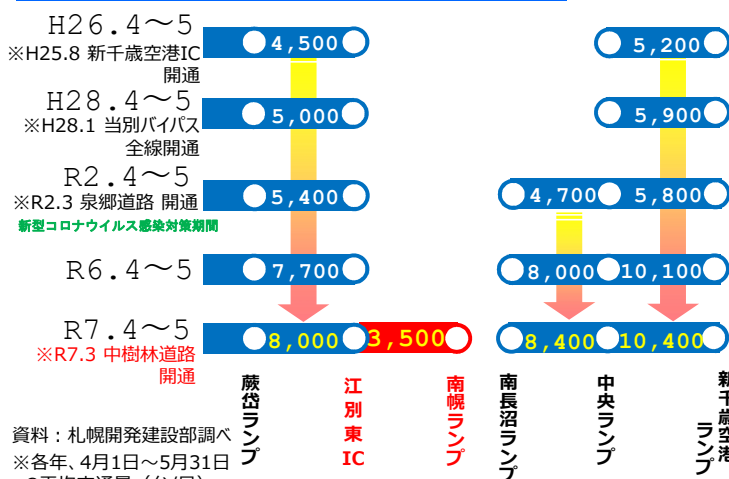


【中樹林道路の通行状況(R7.6.6)】

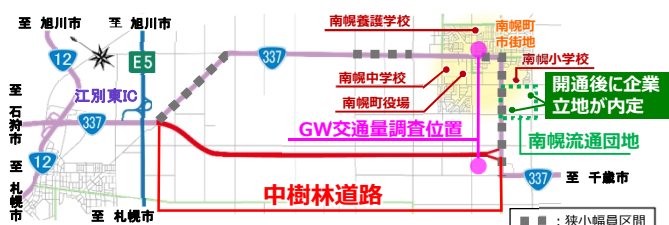


道央圏連絡道路の交通量変化の変遷

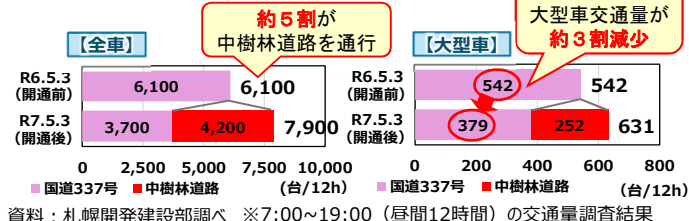
単位：台/日



道央圏連絡道路の機能分担



■GW交通量調査結果



■地域の声 (R7.4 南幌町役場)

- ・以前は市街地の国道337号をトラックが多く走っていましたが、中樹林道路が開通後、**トラック台数が減少**したと実感しています。子ども達の登校がより安全になり、市街地の生活環境が良くなっています。
- ・中樹林道路の開通後、南幌流通団地に**2社の企業立地が内定**しました。うち1社は道内進出が初の企業で、理由は道央圏連絡道路の整備による物流拠点へのアクセス性が評価されたことです。

■地域の声 (R7.5 運送事業者)

- ・石狩の冷蔵倉庫にストックされている道産農産物で製造された冷凍食品を、苫小牧港から道外へ出荷しています。
- ・これまでは南幌町の市街地を通行していましたが、中樹林道路の開通により**スムーズに苫小牧港へ向かうことが可能**となっています。

■地域の声 (R7.5 貸切バス事業者)

- ・道北方面から北広島市へ野球観戦等のイベント用貸切バスを運行しています。道央圏連絡道路は、**揺れが少なく安全性が高く、走行性が良い**です。